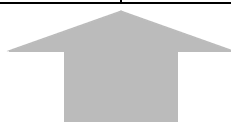


# 檜枝岐小中学校 家庭科、技術・家庭科教育全体計画

## めざす児童生徒の姿

小学校	中学校
◇学んだ知識及び技能を家庭生活の中で活用したり実践したりできる児童。	◇学んだ知識及び技能(技術)を生活の中で活用したり実践したりできる生徒。



## めざす児童生徒を育てる、5年間連続して取り組む学習スタイル

学んだ知識・及び技能(技術)を生活で活用する力の育成	教科の特質を踏まえた言語活動の充実	価値ある地域素材の教材化の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んだ知識及び技能(技術)を、生活の中で工夫し、想像しながら活用できるような題材・教材を開発・精選する。</li> <li>○授業で学ぶ知識及び技能(技術)が、生活と深く結びついていることを、実践的・体験的な学習活動を通して実感させる。</li> <li>○学んだ知識及び技能(技術)を、生活の様々な場面で活用できるよう、家庭や地域との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に照らして作品や調理等を評価したり、データや図表等に教科特有の言語を用いて考えを説明したりするなどの学習活動を充実させる。</li> <li>○生活における事象やものづくりなどに関する実践的・体験的な学習活動を通して、様々な語彙の意味を実感を伴って理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本村の文化である「郷土料理作り」や「木工」を教材化し、伝統文化の理解をすすめる。</li> <li>○食品の安全に対する関心を高め、モニタリングを通して放射線教育の充実を図る。</li> </ul>



## 改善すべき児童生徒の実態

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学んだ知識及び技能を、生活の中で活用している児童が少ない。</li> <li>■実習に意欲的に取り組める反面、自分及び友だちの作品や活動を、言葉や文章で振り返ったり評価したりする力が十分身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学んだ知識及び技能(技術)を、生活の中で活用している生徒が少ない。</li> <li>■これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度が不十分である。</li> </ul>